

注意事項

募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

各奨学会の希望者の中から、家計収入や成績により内部選考を行い推薦者を決定します。

下記の奨学会を希望する者は、「公益法人奨学会願書（内部選考用）」（父母及び本人（本人に所得がある場合）の所得関係証明書と成績証明書を添付）と「希望奨学会申込票」を締切日までに学生部生活支援課奨学チームに提出してください。

出願に必要な書類は充分にご確認の上提出してください。

一度提出した書類は返却できませんのでご承知ください。

内部選考を行う公益法人奨学会募集について(第1回)

申込締切日：4月11日(火)

願書配付及び申込受付：学生部生活支援課奨学チーム

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	奨学金額	推薦人数
電通育英会	<p>学部：学業・人物ともに優秀かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学部学生（学業成績が5段階評価3.5未満の者、家計支持者の収入が給与所得者で年収1038万円以上（給与所得者以外の場合は所得552万円以上）の者、学士入学の者は除く）</p> <p>内部選考後、推薦候補者は小論文を提出する必要があります。 奨学生は秋に開催する「奨学生の集い」に出席すること 奨学生に対する留学奨励金制度があります。 成績優秀による返還免除制度設置予定 貸与期間：正規の最短修業年限まで</p>	不可 日本学生支援機構は可	貸与 40000円	
日新製糖奨学育英基金	<p>学部：東京都内に居住し、学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められる医学部5.6年生(学年は2006年4月1日現在)。 奨学会への申請時、指導教員による推薦理由の記入が必要です。 奨学生に決定した場合「贈呈式」、「生活指導・激励のための懇親会(7月上旬)」等に出席していただきます。 給与期間：正規の最短修業年限まで</p>	可	給与 30000円	1
松尾金蔵記念奨学基金	<p>大学院：大学院において文学、哲学(仏教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学を学人文社会系研究科博士課程1年次で以下のすべての項目に該当する者(学年は2006年4月1日現在)</p> <p>(1) 就学上奨学金の援助を必要とする者(家計支持者の前年度年収又は本年度の見込みが800万円以下とする) (2) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者 (3) 年齢が2006年4月1日現在30歳以下の者 給与期間：正規の最短修業年限まで</p>	不可	給与 年額100万円	1

日本証券奨学財団	<p>大学院：学資の援助を必要とし、学業優秀、健康で明朗かつ積極性がある法学政治学研究科、経済学研究科、公共政策学の修士1年、博士1年入学者</p> <p>(1)品行方正、健康で学業成績が優秀な者 (2)真に学資の援助が必要な者(家計収入が給与と世帯で年1000万円以下、給与と世帯以外年500万円以下とする) (3)修士課程1年次在学者は25歳以下、博士課程1年次在学者は28歳以下であること (4)財団の各種行事に必ず出席できる者 候補者の選考に際し、財団が面接を行います。 給与期間：正規の最短修業年限まで</p>	不可 日本学生 支援機構 は可	給与	修士 自宅 40,000円 自宅外50,000円 博士 自宅 45,000円 自宅外55,000円	1
三菱信託山室記念奨学財団	<p>大学院：工学系・情報理工学系研究科・学際情報学府の修士1年、博士1年生で以下のすべての項目に該当する者(学年は2006年4月1日現在)</p> <p>(1)健康で、学業・人物とも優れている者 (2)将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 (3)学費の支弁が困難と認められる者 (4)2006年4月1日現在満33歳以下の者 給与期間：正規の最短修業年限まで</p>	可	給与	50000円	1
山岡育英会	<p>大学院：農学生命科学研究科修士1年で以下の全ての条件に該当する者(学年は2006年4月1日現在)</p> <p>(1)学部時代に学問・研究に意欲的に取り組み、優れた成績を残している者 (2)将来社会に何らかの貢献が期待できる優れた人格と資質を持っている者 (3)研究生活を維持する上で、経済的な助成が必要と認められる者 候補者の選考に際し、財団が面接を行います。 奨学生採用証書授与式を6月下旬に開催予定 給与期間：正規の最短修業年限まで(平成18年4月分から2年間)</p>	可	給与	60000円	1
新日本奨学会	<p>学部 学部3年生で、学業成績、人物ともに優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者(成績を重視する) 推薦者には、5月16日(火)午後に新日本奨学会の面接があります。 採用された奨学生は奨学会の行う懇親会や面接等に必ず出席してください。 対象学部に該当者がいない場合、他学部からも推薦することがあります。</p> <p>給与期間：正規の最短修業年限まで</p>	可	給与	47,000円	法 2 経 2 工 2 医 1 農 1 文 1 教育 1